

活動レポート (2019年10月26日27日)

かさだ広場 秋のアウトドアフェスティバルオリエンテーリング体験会

10月26日27日に、各務原市にあるかさだ広場において、「秋のアウトドアフェスティバル オリエンテーリング体験会」が開催されましたので、その活動レポートをお届けします。(担当 川島)

スタッフ 川島、中田、橋本、扇本、豊田、山田 (大場、清水 応援参加)

26日は朝8時にかさだ広場に集合して、会場の設営を行いました。テント、机や椅子、スタート・ゴール用のコーンやバーは河川環境楽園で用意され、OL用品は牧ヶ野と橋本で準備万端整え山田が会場に運び入れました。使用するマップの原図は橋本が作成し、環境楽園でカラー印刷しました。



コントロールの設置、受付用機の配備、スタート枠とコントロールの見本、ゴール枠、参加者への会場目印になるオリエンテーリング幟などの会場設営を分担して手際よく行い、9時45分頃までに終わり、受付用紙、貸出用コンパス、参加者配布用のマップ、コントロールの見本、受付とスタート・ゴール用の時計の確認をして、準備が整いました。



今日のスタッフの担当区分は、受付川島、スタート豊田、初心者説明中田、ゴール山田でしたが、適宜交代して円滑に運営することが出来ました。天候は一日中曇天で、かさだ広場では他の催し物もなく、いつも賑わう子供向けの遊具施設の利用者もまばらな状況でした。受付開始の10時丁度に第一号の参加者の家族連れ4人がありましたが、全体の参加者は、午前中で5グループ13人、午後は7グループ28人で、合計12グループ41人となりチョット寂しい結果となりました。

今回はポイントOLで、クラス分けは初心者(約1.6キロ程度)とチャレンジ(約2.2キロ程度)の2コースで、タイムは競わない方式としました。受付では、どのくらいの距離か、所要時間はどのくらいかなどの質問がよくあり、簡単にOLの簡単な説明をすると、初めてでも、チャレンジコースを希望するグループもありました。ほとんどのグループにオリエンテーリングは初めてという方がおられたので、すべてのグループに初心者説明を実施した後、スタートしました。すぐ隣の愛知県側からの参加者もありました。子供達は元気に走ってゴールし、お父さんやお母さんも笑顔でした。



参加者の方に感想を伺うと、大変楽しかった、所要時間30分から40分は丁度よい運動になった、かさだ広場のマップが細かいところまで表示されておりこんな地図は初めて見たと感心されたり、また参加したいなどの声がありました。子供達の中には、タケノコ祭や河跡湖フェスティバルでやったことがある、橙色の三角の旗を見つけるのが楽しい、旗が見つかる走って行く、などと笑顔いっぱい話してくれました。



コースについては、易しかったという子と、難しかったという子もあり、経験や年齢の差かなと思いました。また、経験を積んだ子供達の中には、今度はチャレンジコースで走ってみたいという子もいました。チョットおぼつかないかなと思われるグループには、スタッフが同行しました。写真を撮るため家族連れグループに同行して感じたことは、コントロールで親が小さな子にマップに自分でパンチ出来るように教えたり、パンチの後で次のコントロールはどちらに行くのか

車座になってマップを広げて相談し、子供の自主性を育むようにしておられるのには感心しました。

最終グループの受付は14時00分で、ゴールは15時7分でした。ゴール後の正解確認は、3番のコントロールが分からなかった組を除いて、合格でした。3番コントロールを見落したのは、コントロール位置より一つ東側の道の交点付近を探していたと思われます。72歳の方のグループは、直腸癌の手術経験者がおられ体力不足のため途中リタイアされました。貸出したコンパスは、全部回収出来ました。参加グループ



の中には、小さな子をベビーカーに乗せたり、抱っこしたお母さんやお父さん、孫と組んだおじいさんやおばあさんもあり、和やかな雰囲気の中、事故もなく無事体験会を終了することが出来ました。最終グループのゴールを確認して、コントロールを始めとする体験会設備の撤収作業に入り、整理整頓して15時45分頃迄に河川環境楽園と山田の車に積み込みを終了し、解散しました。スタッフの皆様、お疲れさまでした。「継続は力

なり」です。この企画を継続するためには、GOLAの皆様の大きな力が必要です。

この企画を継続することにより、1人でも多くの愛好者が出てくる力となるよう願っています。今回の参加者は、合計144名。これまでに**6,907人**の方が参加されたことになりました。今回もこのような機会を頂いた木曾三川公園・河川環境楽園の皆様にご感謝申し上げます。

